

1.回答者のプロフィール

- 93.5%が女性
- 60%以上が40歳代以下
- 92.2%が看護師(准看護師の免許のみ持っている人は7.8%)
- 69.3%が離職期間1年以内(45.9%が離職期間1か月以内)
- 48.0%が「復職前の職場は200床以上の病院」
- 28.0%が求職登録(e-ナースセンター)の利用経験あり
- 17.3%が「とどけるん」の利用経験あり

図1 年齢

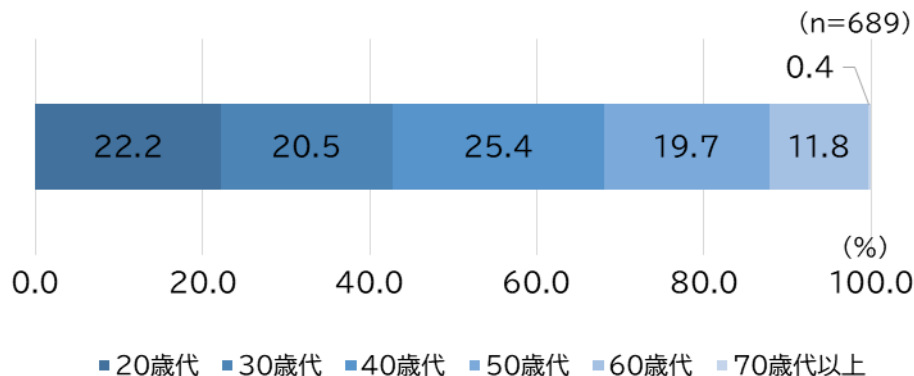
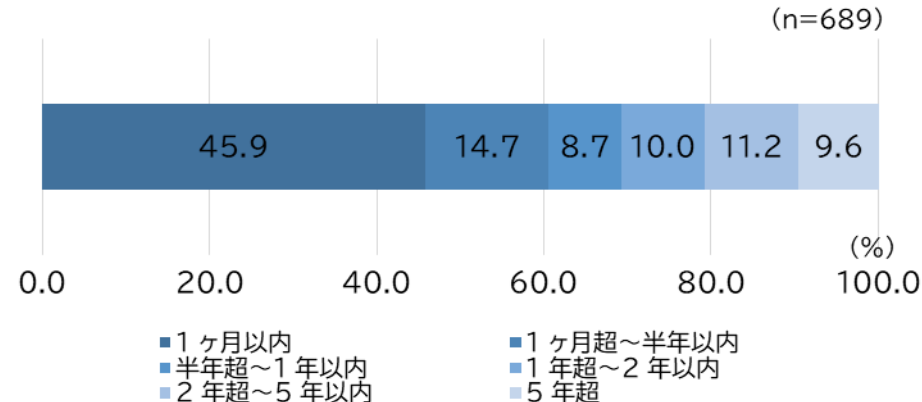


図2 離職期間



2.復職した理由

○復職した理由は「その他」が最も多く、「以前から復職を希望していた」が続く。他の選択肢が全て外的要因であることから、自発的に協力を申し出た場合が多かったと推察される

表1 復職した理由

	件数	割合(%)
都道府県ナースセンターからの求職依頼 (電話、メール、SNS 等)	144	20.9
日本看護協会からの一斉メール(4 月)	33	4.8
日本看護協会長のメッセージ	51	7.4
都道府県看護協会長のメッセージ	22	3.2
都道府県行政の呼びかけ	43	6.2
以前から復職を希望していた	181	26.3
その他	329	47.8
計	689	100.0

「社会的要請に応じて」
「自発的に」と推察される

3. 復職先

○就業した施設で最も多いのは「医療機関」41.1%。また、感染者に「直接対応した」が21.5%

図3-1 潜在看護職員の復職先
(新型コロナウイルス感染症患者のための施設)

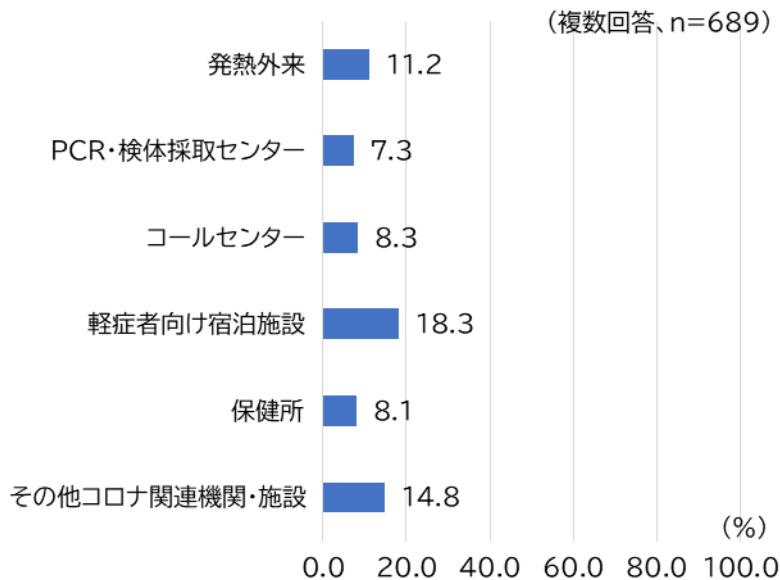
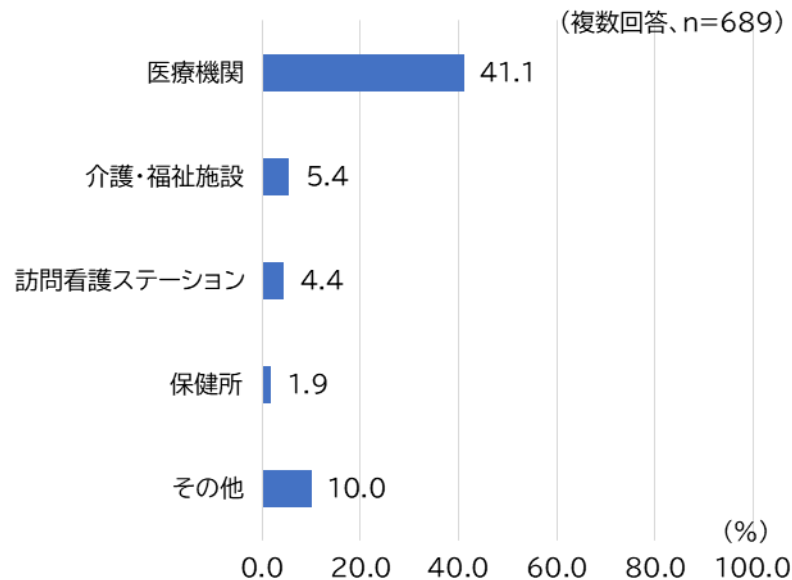
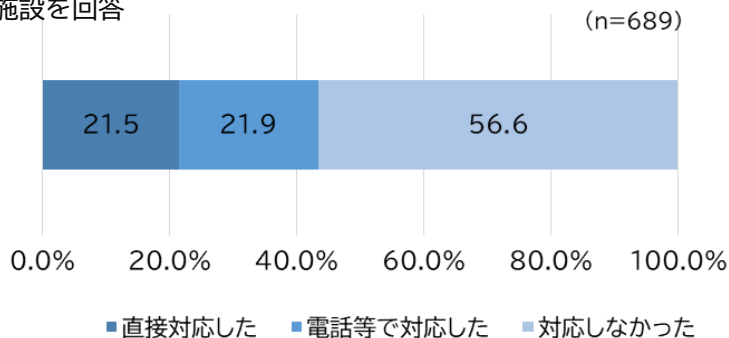


図3-2 潜在看護職員の復職先
(新型コロナウイルス感染症関連機・施設以外)



注: 復職後、調査実施までに就業した全ての施設を回答

図4 新型コロナウイルス
感染症患者への対応

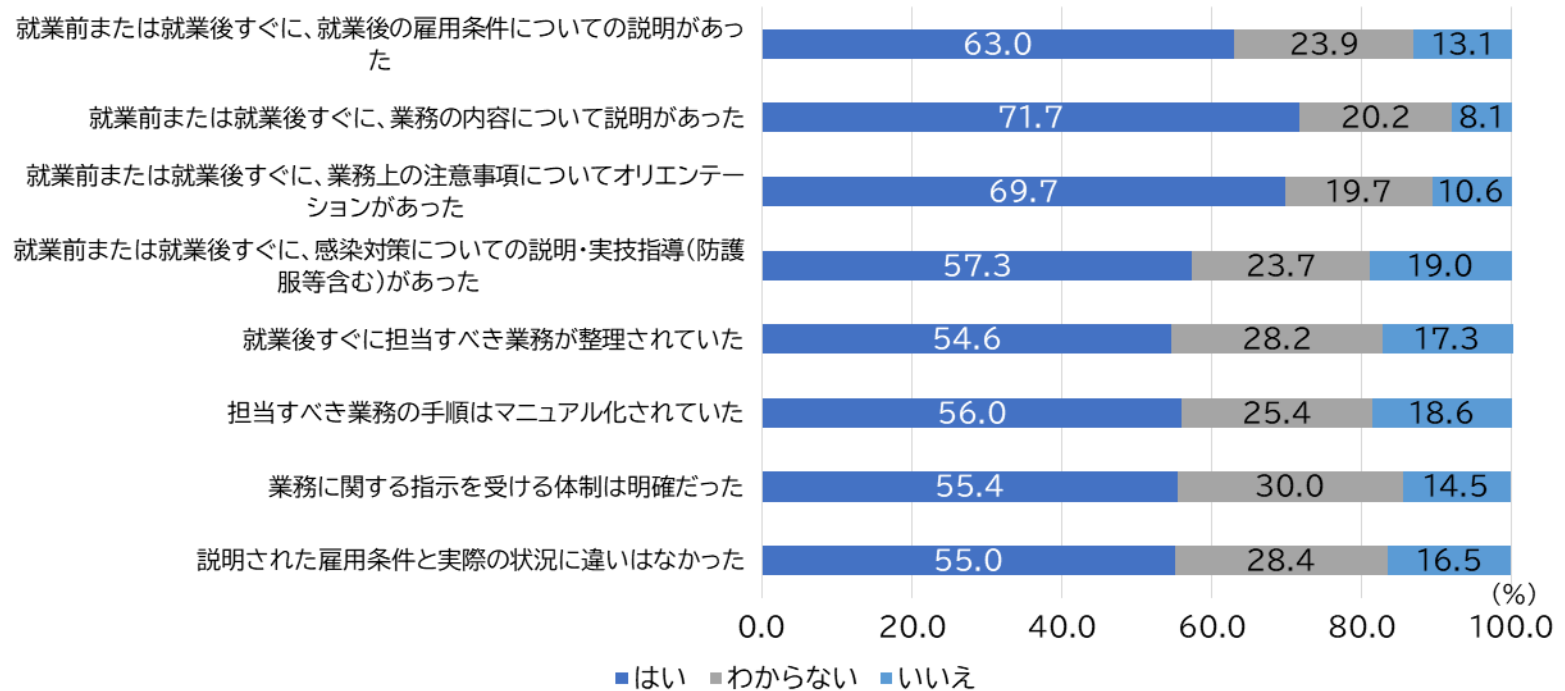


4. 就業先の受け入れ体制

- 雇用条件の説明、業務内容の説明、業務上のオリエンテーションについては6割～7割以上が「はい」と回答
- それ以外でも、全ての項目で「はい」が5割を超えた

図5 就業先の受け入れ体制

(n=689)



5.看護職員としての就業継続意向

- 90.7%が現在も看護職として就業を継続している
- 今後も看護職として就業を継続する意向があるのは54.1%

図6 現在、看護職として就業継続しているか

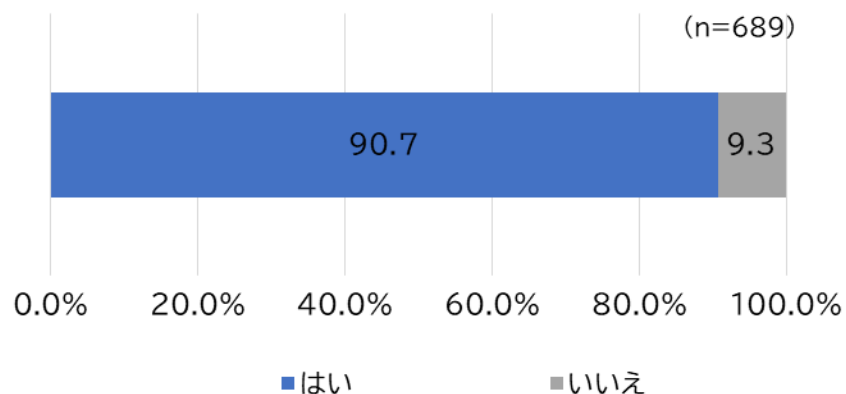


図7 今後も看護職として就業継続したいか

